

平成24年11月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.23K㎡)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	4,821	8,249	4,138	4,111	6	3
2 千 石	3,349	6,649	3,356	3,293	33	50
3 内 山	4,768	7,011	3,772	3,239	2	3
4 大 和	3,206	6,689	3,355	3,334	△ 15	△ 26
5 上 野	7,278	15,592	7,591	8,001	14	3
6 高 見	6,281	12,381	5,966	6,415	△ 11	△ 25
7 春 岡	6,154	10,103	5,393	4,710	8	1
8 田 代	11,161	21,500	10,332	11,168	19	58
9 東 山	9,551	18,623	9,102	9,521	△ 3	40
10 見 付	4,348	8,337	4,172	4,165	34	48
11 星ヶ丘	3,379	6,691	2,994	3,697	△ 4	△ 6
12 自由ヶ丘	3,225	7,034	3,164	3,870	4	13
13 富士見台	6,368	15,779	7,274	8,505	13	42
14 宮 根	3,663	8,468	4,024	4,444	2	△ 8
15 千代田橋	3,597	8,747	4,089	4,658	2	14
千 種 区 計	81,149	161,853	78,722	83,131	104	210
H23. 11. 1	81,306	161,173	78,458	82,715	111	121
対 前 年 比	-157	680	264	416	△ 7	89
名 古 屋 市	1,024,791	2,268,423	1,117,309	1,151,114	1,363	1,572
愛 知 県 (H24. 10. 1)	2,964,640	7,425,952	3,709,515	3,716,437	1,236	890

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	140	107	33	1,102	925	177

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口	
昭和50年	168,861	平成7年	148,847	173,598 (昭和50年2月1日)	
昭和55年	166,837	平成12年	148,537		
昭和60年	163,762	平成17年	153,118		
平成2年	156,478	平成22年	160,015	これまでの最少人口	
				146,727 (平成11年4月1日)	

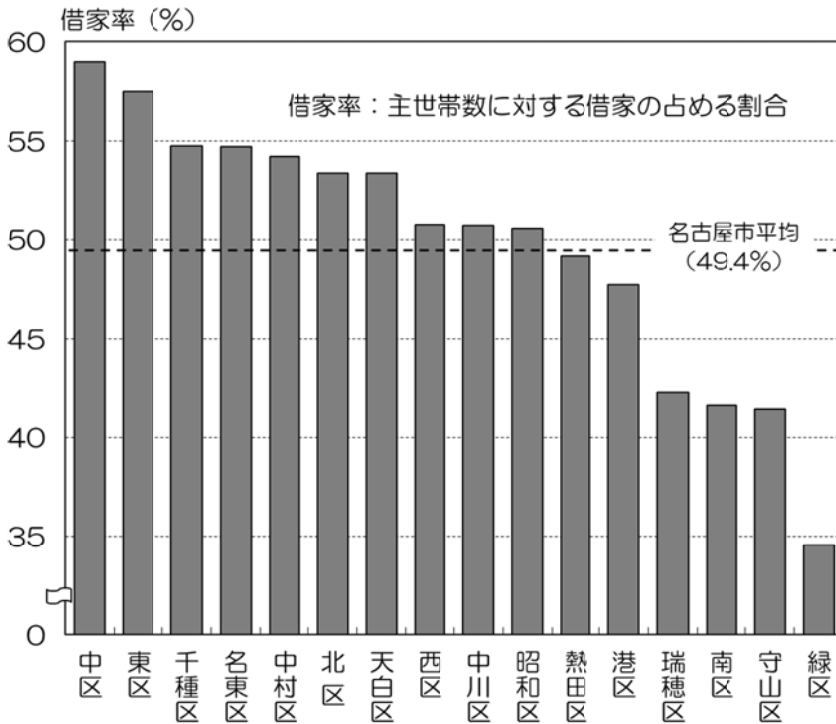
- 注1) 世帯数と人口は、平成22年国勢調査結果を基礎として、毎月の住民基本台帳人口と外国人登録人口の異動数を加減しています。
- 注2) 社会動態および対前月増減には、平成24年7月の法改正に伴う外国人人口の取扱変更による数値変動が含まれており、昨年との連続性はありません。

統計なごやweb版 <http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/67-5-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

千種区の借家率および給与住宅と他区との比較

平成24年11月1日現在の千種区の世帯数は104世帯増の81,149世帯となっており、人口は210人増の161,853人となっています。今回は平成20年住宅・土地統計調査結果に基づいて、各区の借家率および給与住宅居住主世帯数と給与住宅率を見ていきます。

図1: 各区の借家率（平成20年10月1日現在）

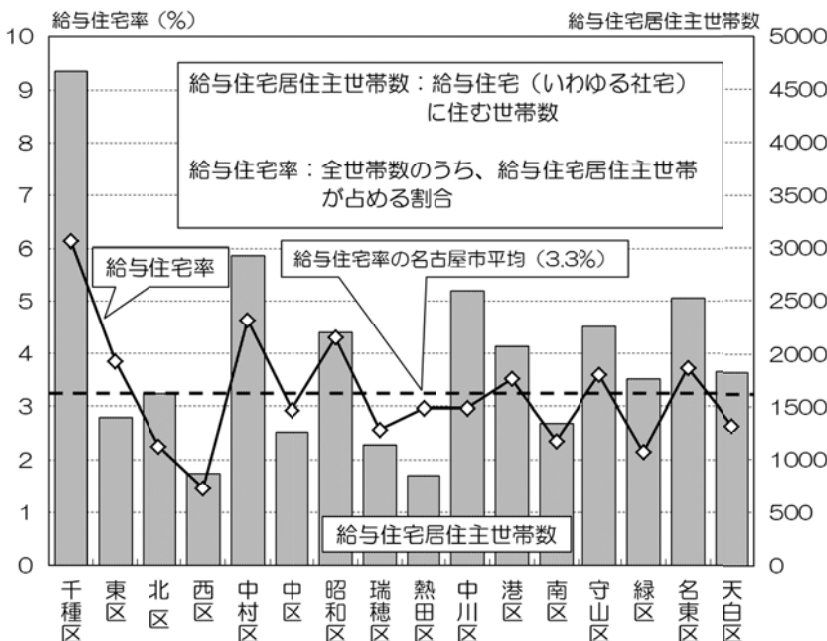


平成20年10月1日現在の各区の借家率（主世帯数に対する借家の占める割合）を高いほうから見てみると、中区が59.0%と最も高く、東区（57.5%）と続き、千種区は54.8%で3番目でした。低いほうから見てみると、緑区が34.5%と最も低く、守山区（41.4%）、南区41.6%と続きます。

全体的に見てみると、地価の高い名古屋市の中心部は借家率が高く、地価の低い郊外は借家率が低い傾向が見られます。

これら借家のなかでも給与住宅に限って見ていきます。

図2: 各区の給与住宅居住主世帯数と給与住宅率（平成20年10月1日現在）



平成20年10月1日現在の給与住宅居住主世帯数（いわゆる社宅に住む世帯数）を区別に見てみると、千種区は他区よりも多く、2位の中村区よりも1,500世帯以上多いのがわかります。

また、給与住宅率（全世帯のうち給与住宅居住主世帯が占める割合）も千種区が最も高く、2位の中村区よりも1.5ポイント、名古屋市平均よりも2.8ポイント高いことがわかります。これらのことから、千種区には社宅に住む世帯が他の区に比べて多いことがわかります。